
MOON- 3 『WOLF MEET VAMPIRE』 < 最終話 >

みづき海斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

MOON - 3 『WOLF MEET VAMPIRE』 <最終話>

【Nコード】

N4413M

【作者名】

みづき海斗

【あらすじ】

そして、2人が待ちわびた『朝』が訪れる――

MOONシリーズ第三段『WOLF MEET VAMPIRE』

最終話です。

エピソード アンド プロローグ（前書き）

はい、無事終わりました（滝汗）。。。。

エピローグ アンド プロローグ

<エピローグ アンド プロローグ>

初夏を思わせる5月半ばの爽やかな風が新宿の街にも訪れる頃。

『朝』は、朝子の叫び声と共に幕を開けた。

「やだ、和人！まだ、寝てたの？もうAM8：30よ！」
リビングの南側にある和人の部屋で。

彼女は言うが早いか窓際のカーテンを思い切り左右に開けた。

シャー………

光の洪水が一気に室内へと押し寄せる。

「ん………！」

今朝方帰宅したばかりの和人は、シャワーも浴びず黒いジャケツトを

着たままの姿で寢室の”主”となっていた。

その光のあまりの眩しさに、思わずシーツを頭まで引きずり上げる。

「乱暴だな……朝子。」

眠りがまだ覚めやらぬ様子で、和人が呟く。

「何、言ってるのよ。」

朝子は呆れて和人のシーツを引っぱ返した。

「秀が迎えに来るんでしょう？AM9：00ジャストに。」

「え！もうそんな時間？」

和人は慌てて飛び起きた。左手首にはめた LOREX を見ると、針は既に

AM8：40を目指して奮闘している。「やば………！！今日

絶対寝坊するなって釘さされてんだよな、あいつに。」

「ほら、みなさい。」

朝子は和人の額を中指の背でこづいた。

「いてっ!」

「日頃の不摂生がこういう時祟るのよ。いい加減、半日ずれた生活、

直しなさいね。」

天使の笑みを浮かべて、朝子が言う。「さ、シャワー浴びて早く着替えて!」

「う……」

和人はしぶしぶと彼女の言葉に従った。

どうやら彼は『朝』と名の付くものには、頭が上がらないらしい。

「

「これが『朝』よ。新しい1日の始まりよ!……なんて清清しいんでしょう!」

ふらふらとバスルームへ向かう和人を見送り、朝子が満足気に、

「着替えたら朝子さんお手製の『モーニング・セット』!」

「モーニング・セットお?」

朝子の言葉に驚いた和人が、脱いだばかりのジャケット片手に振り返った。

「何事!?!」

「あら、心配しないで和人。ちゃんとおあなたの為に」

”あなたの為に”を強調し、「用意したんだから、レバナラ炒め。

「

「やめてくれ、朝子!俺を殺す気かつ!」

和人の悲鳴が、早朝のマンションに響き渡る……

「……お前……」

秀はしげしげと和人の顔を覗き込んで言った。「すっごく、顔色悪いぞ、今朝は。」

「・・・何も聞かないでくれ。」

和人は今も、脳裏に残る朝子特性の”レバニラ炒め”の幻と格闘していた。

一度言い出したら、雨が降ろうと槍が降ろうと決して引かない朝子の為にかろうじて1/3は片付けた和人だった。

青山にある、秀のオフィスの廊下。

ミーティングルームへと続く長い廊下を歩きながら、

「しかし・・・朝子さんも大変だよな。お前みたく好き嫌いの激しい奴

相手じゃ、せつかく作った料理も張り合いないだろうに。」

「俺への”同情”はないのか、俺への。」

和人は拗ねた様に、秀を横目で睨んだ。

秀は、ニカツと笑い、

「『食』に関してはない。好き嫌いする奴の方が悪い。」

きつぱりと言い切った。

「・・・帰る。短い付き合いだっとな。」

「あ、待って、冗談！・・・和人ちゃん！」

踵を返し、今来た廊下を戻り始めた彼の姿を、慌てて追いかける秀。

「俺がお前の朝食から夕食まで、全部手伝ってやつから！」

「え・・・」

秀の言葉に振り返る和人。

碧を帯びた瞳を僅かに見開き、並んだ秀を見つめる。

「そう言う事。」

秀は、につ、と笑って自分を指差し、「今日から俺もお前の
運命共同体。」

「秀！何やってんのよ、そんな所で！」

廊下での秀の声を聞き付けたさやかが、スタッフと共に部屋から走り出てくる。

「遅刻よ！今、何時だと・・・」

と、怒鳴りかけて彼の隣の青年に気付く。

慌てて両手で口を押さえ、「……やだ、一人じゃなかったの？」

「誰だ、秀、彼は。」

信二が、やはりその姿に魅入られた表情で口だけぽくぽくと動かし、

かろうじて声を絞り出す。

「紹介するよ。」

秀は和人の背を叩き、みんなの前へと押しやった。

「Office To One」専属モデル……和人だ。『MONA』の撮影は彼でいく！」

そして……始まる。

2人が待ちわびた、新しい『朝』。

Fin : BGM・T・M・Revolution
『MAKES REVOLUTION』

エピローグ アンド プロローグ（後書き）

これで『夜叉』へと続く作品が全部サイトUPできました。
さて、次はどの小説から書き始めよう（―¥）

（今日は仕事さぼっちゃった。連絡入れたけどね 訳あり（―）
来週はがんばろう・・・）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4413m/>

MOON-3 『WOLF MEET VAMPIRE』 < 最終話 >

2010年10月11日19時41分発行